

2016年7月28日

日時:2016年7月28日(木) PM5:00~6:30

場所:富谷町役場

参加者:富谷町総合計画審議会 委員 13名(別紙参照) 欠員1名

:富谷町代表 7名

:事務局 6名

:オブザーバー(宮城大学事業構想学部学生) 3名

議事録

- 開会宣言
- 町長挨拶
 - 本日は平日の夕方という、皆さま忙しいであろう中お集まり頂き感謝申し上げますとともに、非常にタイトな日程の中で審議いただき恐縮する。
 - 10月10日の市制移行まで残すところ74日となり、正に歴史的な時を迎えようとしている。
 - 何度となく申し上げてきた通り、市になることが目的なのではなく、市になることでどのようなまちづくりを目指すのが重要との判断から、これまで市民の皆さまからも色々意見を聞いてきたところ。
 - アンケート調査や市民懇談会等により広く意見を聴取したが、富谷町から富谷市になることで何をするのか示して欲しいといった意見を寄せられた。
 - 新市の方向性は「富谷市総合計画」で示していくと説明してきたところであり、そこで夢と希望を示し、更に実施計画等で実現していくこととなる。
 - こうした方向性を審議会の委員の皆さまの意見を聞きながら策定していくものであり、忌憚の無いご意見を賜りたく、宜しく願いたい。
- 議事
 - (1) 基本構想修正案について
 - 前回の第1回審議会から修正があるとのことで、事務局から説明願いたい(草間会長)
 - 修正前と修正後を併記し、前後の修正点を黄色マーカーで示したので確認願いたい(事務局:高橋)。
 - 前回から追記した部分はP3の理念概念図のみ(事務局:高橋)
 - P5の基本方針-1、□1-②で、起業へのチャレンジ精神を・・・「守る」・・・となっているが、チャレンジ精神に対しては「活かす」或いは「育む」の方が適切と思われる(草間会長)
 - P5の基本方針-1、□2-②の本文で、・・・歴史文化を活かしながら・・・とあるが、ただ活かすのみならず「リノベーション」の概念を加えたほうが良い(草間会長)
 - P7の基本方針-1、□2-③について、スイーツを核としたまちづくりをメインテーマに書か

れているが、「面影づくり」が突然登場しており、どうリンクするのか疑問だしわかりづらい
(富田委員)

- P7の基本方針-1、□2-③の本文で、…発信して…交流する…となっているが、そこには既存商店の経営努力につながるような「学び」の概念を加えたほうがよい(田中委員)
- 基本構想を分りやすくするために(新市になって特に何をやろうとしているのか明確にするため)重点プロジェクトを挿入したが、P11以降は重点プロジェクトが少なくなっており、非常に気になっている(若生町長)
- P11の基本方針-2、□3-①は、P5の時と同様「リノベーション」を入れて欲しい(草間会長)
- P9の基本方針-2、□1-①国際化教育と、P11の基本方針-2、□1-②豊かな心と健やかな身体…ではどちらが重要化というと②の心と身体の方が重要と思われる。しかし、最重点プロジェクトも国際化教育の方が掲載され、①と②の順番も逆になっているのは何故か(増田委員)
- 色々重点プロジェクトがある中で、今回は特色ある教育の実践と言った観点から「最重点プロジェクト」の位置づけで国際化教育をピックアップしたという考え方(菅原教育長)
- 国では、『知・徳・体』を重視した子供の育成を進めており、その中で、教育基本法では『国民の育成と人格の形成』を推進しているが、この順番の通り国民の育成を最重要課題としていることから、人格形成のための国際教育より心と身体の育成を前面に持ってきたほうが良い(草間会長)
- P13の基本方針-2、□4-①の本文中、…子育て世代から選ばれる…とあるが、選ばれるよりは好まれるの方が上位的な表現であり、好まれるにした方が良い(草間会長)
- P15の基本方針-3、□2-②の本文中、…安全安心な移動を支援する…となっている箇所、「配慮」という概念がより手厚く、想う心が反映されたものであり、みんなで進めていく上で、是非「配慮した」の表現を付記して欲しい(草間会長)
- 草間会長の意見の通り、是非とも「配慮」の言葉は入れて欲しい(佐々木委員)
- また、個別の施策に関する意見と言うより全体的な傾向としての指摘であるが、全体的に文章が長すぎて分りづらい…というか理解できない(佐々木委員)
- 確かに句読点や接続詞でつなぐ表現は、法律を読んでいるようでわかりづらいと思われ、もっとショートセンテンスでの表現でお願いしたい(草間会長)
- P17の基本方針-3、□3-①の方針、三世代が常に…の表現で、常にはくどいと思われ、入れないほうが良いと思う(佐々木委員)
- 「常に」はガチガチのイメージがあるため、よりソフトな表現でお願いしたい(草間会長)
- P17の基本方針-3、□3全体を通して、「支え」がテーマで論旨が展開されているが、支えの基本はボランティアに拠るところが大きく、もっとボランティアを前面に出して論旨を展開した方が良いのではないか(草野委員)

- P17の基本方針-3、□3-②において、気軽に集える地域交流拠点に関して言及しているが、人が集まる具体的なコミュニティ施設の整備は考えているか(平岡委員)
- 施設整備の目的が明確であれば具体的に検討していく余地がある(若生町長)
- P17の基本方針-3、□3-②は、集い合う中で地域の人が地域の人を支える「仕組みづくり」を進めるとなっているが、仕組みづくりよりも、そのもの具体の「モノ(施設)」があった方がありがたいと感じる(平岡委員)
- P17の基本方針-3、□3-①は、三世代が安心して暮らせるまちの話の展開であるが、多少分りづらく、高齢者にとっては・・・、働く女性にとっては・・・、子どもにとっては・・・といった書き出しで論旨を展開した方が良いと思う(増田委員)
- P17の基本方針-4、□1-①で、関連部門として情報化が記載されているが、情報伝達の迅速化がイコール情報化・・・といった概念がしっくりこない。また、情報化した後、その情報をどう活かしていくかが重要であり、その為の情報化であるのだと思う(富田委員)
- 情報伝達の迅速化だけでなく、特に災害時の確実な情報伝達に向けた「情報の多重化」といった概念を入れて配慮したい(草間会長)
- P17の基本方針-4、□1-①において、平時の防災の観点が抜けているように思われる(佐々木委員)
- 次の②の「安心な暮らしを守る・・・」の項で対処することも考えられる(草間会長)
- P19の基本方針-4、□1-③において、異なる文化や生活習慣を持つ人達・・・とあるが、そこに富谷の場合は「新旧融合」の概念を入れたほうが良い。古くから住む人と新しく住みついた人達の、その異なる歴史を持つ人達が融合していくことが重要であると思われ、是非とも「新旧融合」の概念を加えて未来につないでいって欲しいと願う(草間会長)
- その「新旧融合」のきっかけづくりを考えて欲しい。古くからいる人も新しくきた人も、市になったことによって一体感を持って欲しいし、歩み寄って欲しいと思うために、是非ともきっかけづくりをお願いしたい(平岡委員)
- P21の基本方針-3、□3-②で、行政運営となっている箇所は行政経営とすべき(草間会長)
- これまで各ページ毎に一通り意見を頂戴したが、振り返って全体を俯瞰して意見を頂きたい(草間会長)
- すごくいい出来にはなっていると感心したが、P3の理念は4つの基本方針から展開していかないとなかなかしっくり落ちてこない気がする。また、基本方針が長すぎると思われ、方向性をコンパクトにまとめた方が良い。さらには、全体の文章として行政用語が多く、硬くて誰に読ませたいのか疑問を感じる部分もある(石井委員)
- 石井委員と同様、最初の理念が重要であるにも関わらず、基本方針への展開につながりが感じられない。また、基本的に説明文が長すぎると感じた(工藤委員)
- 実際は担当課が動くときに動きやすいよう、計画は整合性が取れなくなるもの。その辺はご理解いただきたいところであるが、基本的にフレーズはコンパクトにまとめたたい(草間会長)

長)

- フレーズを短くすることで、誤解を生じてしまう可能性もある。極力誤解の生じないよう配慮願いたい。そういう意味ではコンパクトにまとめたパンフのようなものがあったらいいかもしれない。また、全体を通して「こんなことがしてもらえる」、一方で「こんなことができる」といった協働で取り組む方向性が分りやすく示されており、自分たちが何が出来るか感じられる内容で非常に良かったと思う(麻生川委員)
- 開宿 400 年を迎えるということで、記念事業は是非成功させて欲しいし、そこで歴史に学ぶといった何かが良い。隣町大和町のような「殿、利息で御座る」のような何かが良い谷にはないだろうか？また、防災に関しては新市としてしっかり進めて欲しいと願う(大川委員)
- 市民が分りやすい言葉でまとめて欲しい。また、農業関係者として特産づくりは結構だが、ベースはあくまで基盤農業である水田農業であることをよく認識し、その上での特産品づくりであることを強調しておきたい(佐藤委員)
- 「交流農業」の促進はどうだろうか？農業に触れて、農業を楽しく理解する取り組みを通じて地産地消を促進する取り組みもいいと思う(草間会長)
- 6次産業は古い農家にとっては遠い世界のもの。担い手を育成し、夢と希望ある農業に向けては、水田農業に対する配慮を願いたい(小松委員)
- 「基盤農業」といった概念を取り入れることとしたい(草間会長)
- 総合計画は市民に対するプレゼンテーション資料の位置づけであると理解しているが、施策展開方針の語尾が「努めます」といった表現はいただけない。言葉尻は断言する表現にしてもらいたい(富田委員)
- 実際は、議会その他へのコミットメント等で、断言するのは大変なんだろうと推察する(草間会長)
- 新鮮な野菜を身近で出展・販売できる場所があればいいと思う。小さいところ、小さい場所から人を引き寄せていくのが一番の近道ではないだろうか？また、小さいうちから子どもたちが町外に出ないような仕組みづくりも重要と思われる(平岡委員)
- 地産地消をプロモーションしていくことが重要(草間会長)
- 3Rだったり4Rだったりの表現は、市民に分ってもらえるだろうか？アスタリスクを付けて説明する必要がある。また、全体的に中身として濃かったり薄かったり、多かったり少なかったりするのでは、全体的な施策展開の分量のバランスを考えたほうが良い(佐々木委員)
- 富谷は、大都市に近接しながら自然環境が豊かで、退職後の土いじりをする土地柄として適している。そうした方向性からも住みたくなるまちを実現して欲しい(増田委員)
- 一通り委員の方々から意見を頂き、出尽くしたところでオブザーバーの大学生の皆さまから感想や意見を頂きたい(草間会長)
- 全体的にどこのまちでも通用しそうな内容で、富やらしさが感じられない。また、「つなぐ」といった理念に関し、人と人をつなぐニュアンスが前面に出ているが、他の地域とのつな

がり・・・といった概念があってもいいと思った(山中)

- あらゆる方面から検討いただいているが、抜け・・・というターゲット漏れがないか再チェックが必要ではないかと思う(立花)
- 協働という概念は、それぞれ自分自身が何が出来るかといった、自分ごとの行動を展開していくものと思われるが、それぞれ自ら考え、是非とも基本構想が実現するよう願っている(相沢)
- その他何か意見はないか(草間会長)
- P9の基本方針-2、□1-①に、「国際化・多様化に子どもたちをつなぐ・・・」とあるが、多様化に子どもたちをつなぐとはどういう意味か？現実の教育現場では、子どもたちや子どもたちを取り巻く環境が多様化するとは、あまりいい意味には使われていないのが現状。その多様化の意味するところを教えて欲しい(麻生川委員)
- 次回までに整理する。また不要な言葉なら削除することも考える(草間会長)
- まちづくりの基本は人。人をどのように活かすかが鍵となる。魅力がないと人は止まってくれないもの。若い人達にとっての、一方でお年寄りにとってのブランドを作っていかなければならないし、そのブランドづくりの人が重要になってくる(草野委員)
- 時間となり、ほぼ意見も出揃ったと思われ、ここで事務局に進行をお返りする(草間会長)

(4)その他(事務局・高橋)

- 総合計画にはサブタイトルを付けたいと思っており、他地区の事例を参考に次回意見を賜りたい

以上